

表3-7 現在の治療ステップを考慮した重症度(発作型)の判断

患者の症状・頻度 (治療ステップ)	現在の治療ステップ			
	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4
間欠型(ステップ1) ・年に数回、季節性に咳嗽、軽度喘鳴が出現 ・ときに呼吸困難を伴うが、 β_2 刺激薬頓用で短期間で症状改善し、持続しない	間欠型	軽度持続型	中等症持続型	重症持続型
軽症持続型(ステップ2) ・咳嗽、軽度喘鳴が1回/月以上、1回/週末満 ・ときに呼吸困難を伴うが、持続は短く、日常生活が障害されることは少ない	軽症持続型	中等症持続型	重症持続型	重症持続型
中等症持続型(ステップ3) ・咳嗽、軽度喘鳴が1回/週以上。毎日は持続しない ・ときに中・大発作となり日常生活や睡眠が障害されることがある	中等症持続型	重症持続型	重症持続型	重症持続型 (難治・最重症)
重症持続型1(ステップ4-1) ・咳嗽、喘鳴が毎日持続する ・週に1~2回、中・大発作となり日常生活や睡眠が障害される	重症持続型	重症持続型	重症持続型	重症持続型 (難治・最重症)